

キングス・ガーデン埼玉

KING'S GARDEN SAITAMA NEWS LETTER 2021年1月1日発行

63

その砂漠を主の園のようにする。そこには楽しみと喜び、感謝と歌声とがある。イザヤ51:3



起工式、鍬入れの様子

起工式に思う

キングス・ガーデン埼玉 理事
川越KG建設委員長 児島康夫

2020年12月15日、川越キングス・ガーデンの復旧事業起工式が川越市天沼新田の新建設地で行なわれた。被災から1年2か月、待ちに待った再出発である。

新しい敷地は東上線鶴ヶ島駅から歩いて10分足らずの県道に面した至便の地。土地面積は旧施設より少し狭い7,940㎡だが、建物は旧施設より少し広い延床面積4,780㎡、各室に陽の当たる明るいスマートな2階建て。国・県・市の災害復旧支援を受けているので規模は旧施設とほぼ同等。事業内容も特養80名、短期入所20名、デイサービス25名の定員、その他訪問介護、居宅支援事業も行われ、従前と同じである。

しかし建物の機能は旧態依然ではなく、だいぶ進歩している。例えば災害に対して耐風水、耐火、耐震、非常時のライフラインの確保や感染症にも対応しやすい構造や設備を整えた。これによって災害時には地域の福祉避難所としての役割も担えるようになる。

入居なさる高齢者にとって夏冬も快適で心休まる生活の場を提供したい、働く職員にとっても機能的で使いやすい、働きやすい職場でありたいと強く願っている。

今日、夢うつつで起工式を迎えたが、振り返ると大洪水に遭う半年前、法人の将来計画委員会(坂野慧吉委員長)が理事会に提言した将来計画書に「地域の痛みを共に担い、地域福祉の形成に仕える」とあり、「既存施設の改築・建替え」を計画するという文言があったことを思い出し、今の事態に相似していることに驚きを禁じ得ない。神に任せ、人に仕える奉仕の精神をもって、人間の尊厳を大切に、最期まで親身の介護に当たろうという職員共通の使命と希望が実現しようとしている。2022年初春の開所を法人関係者や新施設で働く仲間と共に胸躍らせながら、その日を待ち望んでいる。

川越キングス・ガーデン

隠された宝物

川越キングス・ガーデン施設長 渡邊 圭司

この度、移転予定の地で起工式を予定通り行うことが出来たこと心より感謝いたします。

被災から1年2ヶ月、多くの皆様の祈りとご支援により、ここまで来ることができました。被災後の歩みは先の見えない細い道を進んでいるように決して閉ざされることなく道は続いていました。これからは与えられたこの土地に建築が始まりましたので、再出発を支えてくださった皆様の期待を胸に、移転先での川越キングス・ガーデンの役割や使命を思い描きながらこれからの準備ができたらと思っております。被災後のクリスマスイヴの日に、日本のキングス・ガーデン創始者である三谷氏ご夫妻から、川越の職員に聖書の2か所から言葉を贈って下さいました。

わたしを呼べ。わたしはあなたに答え、あなた知らない隠された大いなることを告げ知らせる。

(エレミヤ 33章3)

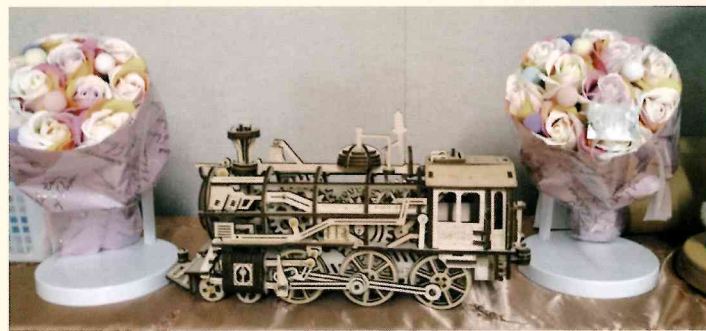
わたしはあなたの前に行って、もろもろの山を平らにし、青銅のとびらをこわし、鉄の貫の木を断ち切り、あなたに、暗い所にある財宝と、ひそかな所に隠した宝物とを与えて、わたしは主、あなたの名を呼んだイスラエルの神であることをあなたに知らせよう。
(イザヤ 45章2〜3)
この言葉に励まされてきた1年でした。



草加市リハビリデイより



手作り人形と、介護情報誌で対談した「鎌田實」氏より頂いた色紙



三谷氏作成の機関車とソープフラワー



ご家族より「笑」と願いを込めた千羽鶴とソープフラワーの「犬」



ご家族より「見張らせ猫」

寄付者御芳名

新年明けましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願ひします。

旧年中もキングス・ガーデン埼玉のためにお祈りとご支援を賜りました事、大変感謝申し上げます。おかげさまで昨年12月15日に行われた川越KG移転復旧工事の起工式も晴天に恵まれ無事に終了しました。

2019年の台風被害から1年2か月が過ぎました。この間キングス・ガーデン埼玉がこれまでまでに神様から愛され、また皆様からも愛されて存続できていることに感謝の念が堪えられません。2019年11月に理事会ではこの土地に移るかも見通せない中でしたが、信仰をもって川越キングス・ガーデンの高台移転を決断し、土地を探し始めました。また「職員こそキングス・ガーデンの宝である」との確信から雇用の継続を決定し、事業を再開できない中でも解雇せず約6か月間避難先におられる方々をケアさせていただく事ができました。

2020年度はコロナ禍にありながらも各施設職員が努力奮闘し、感染症を出さないようにしつつ、事業を継続しました。ご存じのように埼玉県内でも特養でクラスターが発生したため、行政から人材不足を抱えている施設へ職員派遣の応援要請を受けて、理事会としても職員が安

心して支援に行けるように規定を定めました。

また経済的な困難に直面しながらも、その都度助けが与えられております。2020年9月に主の園の修繕工事に対する国の査定があり、10月には補助金の入金がなされ無事に工事費3億5、723万円を支払うことができました。皆様からいただいた寄付金より1000万円をその費用に使わせていただいております。2020年5月から10月までのご寄付について、報告いたします。本来であれば参上して御礼を申し上げるべきであります。文中にてご寄付の御礼とさせていただきます。本当にありがとうございます。

理事長 片岡 正雄

寄付者御芳名(敬称略)

二〇二〇年

〔五月分〕中村伸康、平田貞子、中田年子、柳原英範、飯田仰・晶子、藤倉環、平野雅子、児島康夫、家城幸江、肥土澄枝、児島康夫、第一日典、三谷六郎・恵子、いのちの樹教会、大阪教会、野口光英、坂間みつ子、コガネマルチヅ、井上都希子、鈴木文子、森上温、金城信子、龍野九十九、蓮沼キリスト教会、タナカヨシフミ・アキコ、渡辺恵美子、大竹文子、原田五月、下村和子、鈴木基臣、草加福音自由教会、小泉礼子、下村和子、新川良、中田年子、藤倉環、森正義、改革派上福岡教会

〔六月分〕阿部徳子、藤田八重子、村井あつ子、

平田貞子、大塚愛子、中村伸康、飯田三四子、深澤結子、柳原英範、猪股シノブ、降幡あい子、東京中央バプテスト教会、第一日典、三谷恵子、東川口福音自由教会めぐみ会、野瀬裕志、田口規矩子、鈴木邦子、龍野九十九、ニシザワシユウエイ・アキコ、藤田法子、佐藤恭子、鈴木基臣、上野教会サフラン会、川越聖書教会、藤田隆治、藤井徹子、片岡契一、草加福音自由教会、森上温、若林淳子、上福岡教会、中田年子、藤倉環、東京中央バプテスト教会、関東福音自由教会合同婦人会、INOUE STEPHEN YUJI、匿名、(株)ウチダシステムズ、田中寿代

〔七月分〕安西愈、牧葉子、白井京子、柳原英範、鈴木基臣、匿名、乙部鈴江、金澤スミ子、平田貞子、藤波斎、池田洋一・恵子、原口惺枝、有路淳一、依田次雄、橋村あゆみ、熊谷節子、浅倉茂雄、穂積ヨシ、山田辰雄、阿部義弘、馬場一郎、雷鳥会、蕨福音自由教会、深野和子、村田充子、飯田仰・晶子、四十崎幸子、高島操、三友庸子、染谷賢一、長谷川正志、野田あずさ、三谷恵子、石井悦子、山本航平・和恵、ケアホーム愛の家、長谷部真理子・愛美、仲義之、浦和福音自由教会、岡崎政子、子島進、井川輝美、内田美智子、かすや、神武正信、龍野九十九、杉本謙・明香、木村美枝子、菊地敏昇、宮永明、山本多美子、越川壽允、ホームチャペル茅ヶ崎、久慈栄志、清野文子、児島博、徳重理知子、山形輝夫、KG貯金箱、佐野鞠子、横尾洋子、土田信夫、尾前蘭子、小池孝

子、川上彰、松尾節、矢内愛子、長崎恵美子、古川竹雄、村井あつ子、山田ミヤ子、須子信之、花村紀子、笠井康助、熊木和江、岡野秀平・千代子、中山薫子、草加松原教会、渡嘉敷通秀、山田郁夫、宮坂信幸、川田愉、仲矢宏基、高木隆一、増田幾久治、庄司國昭、大河原治子、(株)半田設計事務所、石川岩夫、山本真千子、岩井妙子、高野絹子、鳥山美奈子、藤田三枝子、原田五月、松本敏治、瀬山美喜子、後藤令子、安田政秋、下岡一夫、藤巻宏三、草加キングス・ガーデン、安村純子、安村純子、松本方子、鈴木諭香子、栗田勝江、中田年子、鳩山伝道所、榊原未知子、郷家一二三、加々美要、市川浩子、酒井紀久子、谷本芳也、里村佳子、柏淳子、佐藤圭子、川野玲次郎、沖崎泰蔵、市原才治郎、高橋南海子、吉田俊夫、渡部善寿・あゆみ、三好晴夫、上福岡教会、三好晴夫、松井岳巳、岡澄子、斎藤津代子、中田年子、藤倉環、大竹文子、清水眞理子、東京中央バプテスト教会、草加福音自由教会、中村禎作、高橋直美、西澤修英・顛子、森上温、森正義、木之瀬淳子、片柳福音自由教会、赤井タカ子、萱原静江、齊藤学、鬼塚恭子、片岡契一、中村伸康、藤井俣子、松崎若草、夏加知子、岡本不二夫、新倉雅晴、宮本和幸、織田裕美、一色美沙子、小林温子、赤井麻貴子、降幡あい子、清水栄子、大沢雄一郎、篠崎正江、白井京子、西條秀明、田中寿代、笠松ヒデ、小泉礼子、小川恵太、毛受純子、旧霞が関北小の有効活用を考える会、金谷紀子

〔八月分〕飯田三四子、国立聖書教会、鈴木邦子、

鶴沢捷雄、石垣貴代子、新座教会、藤田八重子、佐藤茂、吉住幸子、岡田和宏、平田貞子、葭原由子、柳原英範、稲葉文子、石井直人、西貝京子、安西愈、児島康夫、馬場幸子、佐治義朗、乙部鈴江、小林弘幸、池田勝美、関根但、小河信子、藤田里栄子、早川聖子、東部中会婦人会、三谷恵子、和田路子、東大宮福音自由教会、鳩ヶ谷福音自由教会、轟 健治、蓮沼キリスト教会、松本順・由美子、藤田法子、龍野九十九、斉藤佳世子、酒井紀久子、篠崎正江、児島康夫、中田年子、森上温、加藤久仁夫、神聖子、野瀬裕志、草加福音自由教会、児島康夫、野口喜介、肥土澄江、間室照雄、片岡契一、石井悦子、浦和福音自由教会、佐藤圭子、加々美要、新藤恭子、上福岡教会、小野島みき子、霜田ゆかり、鈴木ミツル、藤倉環、東京中央バプテスト教会、中田年子、西澤修英・顛子、平野雅子、柿本俊樹、日野明江、江澤順子

〔九月分〕石井正治郎、田中寿代、橋村あゆみ、大澤克哉、中村伸康、飯田仰・晶子、柳原英範、坂本あい子、川口寿枝、丸山智也、平田貞子、兼為美佳子、加藤葉子、前田江美、鈴木邦子、勢理客英男、片岡契一、柴崎モト子、小田原荻窪キリスト教会、三谷恵子、清瀬福音自由教会、(株)田島建設、篠崎正江、中田年子、川口寿枝、細川武、後藤朝子、加藤久二夫、石井正治郎、齋藤忠宏、伊藤淑子、五十嵐正俊、森上温、児島康夫、宮本和幸、平野雅子、大宮教会、小塚朝生、大竹文子、匿名、森上温、渡辺実和子、浦和福音自由教会、佐藤圭子、加々美要、川越聖書教会、(株)セーラン

ト、保田政秋、改革派新座志木教会、(株)カナイ消防機材、中田年子、藤倉環、牧野猛世・祥子、新松戸福音自由教会、改革派江古田教会、山崎光吾・博子、柳原英範、草加福音自由教会、越川壽允、藤田八重子、大澤克哉、児島康夫、上原朋子、西澤修英・顛子、風間恵理香、上原朋子

〔十月分〕土田信夫、平田貞子、三友庸子、酒井平興、西條秀明、東京中央バプテスト教会、降幡あい子、鈴木邦子、川越聖書教会、馬淵淑子、勢理客英男、東京中央バプテスト教会、片岡契一、三谷恵子、藤井俣子、東川口福音自由教会、森上温、五十嵐桂子、家城幸江、肥土澄枝、森正義、高橋綾子、篠崎正江、中田年子、宮本和幸、藤田法子、川越福音自由教会、蕨福音自由教会、庭野佳子、改革派岡山西教会、乙部鈴江、山形輝夫、佐藤圭子、浦和福音自由教会、日本キリスト教社会事業同盟、児島康夫、中村伸康、ケアハウス主の園入居者親睦会、平野雅子、川口福音自由教会、龍野九十九、みぎわ会世話人会、中田年子、藤倉環、草加福音自由教会、加々美要、越川壽允、柳原英範、鈴木恵美、西澤修英・顛子、石田寿夫

キングス・ガーデン埼玉の事業が多くの方々の尊いご厚意によって支えられておりますことを深く感謝しています。法人への寄附は原則として所得税の控除の対象になりますので、領収書は大切に保管して下さい。



わらび福音自由教会教会学校の生徒さん達より

福祉仮設住宅で過ごす入所者の皆さんには「みんなで、元気に新しい家(施設)に引っ越ししましょうね!」と機会がある度に声を掛けさせて頂くと、入所者の方々が「私も一緒に行くの? 楽しみね!」と話され、共にその時を待ち望んでいます。

この土地は、水害の心配のない場所ですが、地域には引き続き水害が起こる可能性がありますので、緊急時には福祉避難所のような役割ができる

ようにと、設計の中にはそのような要素を取り入れて建築される予定です。キングス・ガーデンが目指している「夕暮れ時に光あれ」との法人理念を大切に、地域に根差した施設の実現を目指して参ります。

ケアハウス主の園

文化祭

ケアハウス主の園 鷹野みさき

10月14日から20日まで、恒例の文化祭を行いました。文化祭は、主の園に入居している方ならだれでも出品できます。絵画、書道、俳句、短歌、川柳、手芸、写真などなど、最近の作品でも、以前の作品でもOKです。今年は41点、22名の方が出品されました。

出品する作品が決まると、事前に出品者の方が職員を交えてどのようなレイアウトにするか打ち合わせをします。作品もプロ級ですが、展示についても抜群のセンスをもっている方々が多く、様々な意見が出る中、配置のレイアウト案ができ、その案をもとに展示します。

開会式では、職員が出品者の方々へインタビューをして、作品が生み出された経緯、作品への思いが語られていきます。そして、みんなでゆっくり作品を鑑賞しながら、「すばらしいわ」「すてきね」「かわいい!」お互いの話がはずみます。

昨年は文化祭の開会式を終えた日の夜、台風の

被害で避難しなければなりませんでした。数ヶ月後、戻ってきてからは感染症対策で、様々な活動を自粛、外出も控えめに、あまり変化のない生活を送ってきました。でも、この作品展示を通して、久しぶりにゆっくりと豊かな時間を過ごすことができました。

今年は外部の方々に、この文化祭の作品を見ていただくことができなかったので、埼玉県の高齢者福祉施設協議会が開催する入園者創作作品展に応募しました。全ての作品をネット上でみていただく準備しましたが、作品展の応募上限数により、5人の方の作品を出品しています。「埼玉県老人ホーム入園者創作作品展特設サイト」で検索するとご覧になれます。

川口キングス・ガーデン

3密の介護現場

川口キングス・ガーデン施設長 橋村あゆみ

入居者及びご家族の皆様、日々感染予防にご協力いただき感謝申し上げます。オンラインやガラス越しの面会だけではなく、傍で話したい、触れたいと願っておられると思いますが、埼玉県は感染者数も多いことから、今暫くのご協力をお願い申し上げます。

介護現場は閉ざされた空間の中で、皆さんと共に集まり、職員は常に入居者に接近し、密閉・密集・密接は避けられません。だからこそ職員自身



検温中

が感染源にならないよう、24時間感染予防に努めております。

出勤後は一番にアルコール消毒、接触が最小限で済むよう顔認証での体温測定、手洗い、うがいを行い業務に入ります。マスクの着用を徹底し、休憩時間にはアクリル板を挟み食事をし、互いが感染源にならないよう配慮しております。

ユニットの中では換気、アルコール消毒の徹底を行い、3週間に一度、コロナ感染対策委員会を開催し、地域の感染状況とKGの感染予防ロードマップの確認を行い、感染対策を周知しております。また感染の可能性のある入居者又は職員が発生した場合には、念の為ユニットを閉鎖し、共有部分を避けて非常階段からの出退勤とし、施設全体に拡大しないよう配慮しております。

「入居者を守る・自分を守る・大切な人を守る」を合言葉に感染予防に努めながら、キリストの愛を持ち、温かな手を差し伸べ入居者の皆様に笑顔でいていただけるよう力を合わせております。新しい一年も、皆様の上に神様の豊かな守りと祝福がありますようお祈り申し上げます。

草加キングス・ガーデン

コロナ禍にある礼拝

ケアハウス草加キングス・ガーデン施設長 井上公子

新型コロナウイルス感染症の拡大により草加KGでの礼拝も3月より中止となりました。普通の日常が一変し、毎日持たれていた礼拝がどれほど貴重なものであったかを感じたことでした。協力牧師会世話会会の先生方との話し合いを重ね、ケアハウス入居者のみですが、2グループに分け隔日参加の形で、感染対策とソーシャルディスタンスを保つことで少し落ち着いた7月より礼拝を再開することができました。開所当時からあっても故障し使用できなくなっていた自主放送システムを修理し、8月からはケアハウスの食堂や各居室のテレビで礼拝の様子を観ることができるようになりました。特養の方々もテレビにより礼拝参加できるようになりとても喜ばれています。近隣の施設で感染者がでていると報道されるなか、感染者がひとりでもたら中止となる礼

拝が今継続できていること、また礼拝参加される方がこの時だからこそ起こされていることは、多くの方の祈りと主の憐れみによるものと感謝しています。



密を避け参加、礼拝前後にケアハウス入居者で換気と消毒作業をしています

